

《学校教育目標》

あいさつ 笑顔 思いやり 心をそろえて チーム兵庫



兵庫っ子

学校便り 12月号

令和6年12月12日

文責 深草 光明

◆12月です。今年の登校日数も10日を切りました…。

ようやく、冬らしくなってきました。2学期の登校日も残りあと少しです。兵庫小の子供たちは現在、朝の時間、20分休みなどを使って「兵庫スポーツマラソン2024」に取り組んでいます。ほとんどの児童が運動場に出て、先生たちも一緒にグラウンドを走っています。時間がある時は私も一緒に走っているのですが、終わった後はもうフラフラです。（情けない…）寒さを吹き飛ばし、子供たちには元気に終業式を迎えてほしいと思っています。

ただ、心配なのが、本校にもインフルエンザが少しずつ増えてきたことです。市内の学校では既に学級閉鎖が行われたところもあります。今年のインフルエンザは、熱があまり上がらないのが特徴でもあるようです。いつものインフルエンザですと高熱が出るために、すぐに検査⇒インフルエンザの診断…となるのですが、熱が高くならない場合、検査をせず診断が遅くなることにつながっているみたいです。風症状が出た場合には、積極的に検査をしていただいた方がよいかもしれませんね。本人を含め、兄弟姉妹の中には受験を控えている御家庭もあるでしょう。十分にお気を付けください。学校でもクラス内にインフルエンザや、風邪症状での欠席が増えだしたら、マスクの着用を奨励することがあります。ランドセルに準備していただくと助かります。

◆少年の主張大会11月16日(土)

毎年行われています兵庫町少年の主張大会が11月16日（土）に行われました。本校からは5、6年生のクラスの代表8名、城東中学校の代表4名が発表してくれました。日頃の学校生活の中で考えたこと、社会の出来事から思ったこと、自分が頑張っていること、将来の夢…今の自分に最も関心のあるテーマを選び、それぞれの思いを込めて12名の児童・生徒が発表してくれました。まず、いろいろな事から自分の意見をもつということ、またそれを文章に表すということ、さらに相手に伝わりやすいように工夫して発表するということ…。主張大会にはこれらの要素が詰まっており、なかなか大変です。それに加えて大勢の前で発表するには、緊張に打ち勝つ“勇気”も必要です。しかし、12人共に堂々とした発表ぶりで、とても立派でした。また、その発表の中には、私たち大人が今後考え、解決していくべき大切な宿題となるようなものもありました。

本校を卒業した4人の中学生にも久しぶりに合うことができ、とても嬉しかったです。みんな立派になっていました！兵庫小学校も素敵な学校だと思っていますが、城東中を訪れた際にも、生徒たちの元気な挨拶、てきぱきとした行動、落ち着いた授業風景を見るにつけ、城東中も素晴らしいな…といつも思います。きっと兵庫小の卒業生も学校を引っ張ってくれているのだろうな…と感じています。小学校、中学校、互いの高まりの一端を見ることができた主張大会でした。

◆人権教室を行いました



11月14日（木）、1時間目を使って、全校一斉に人権教室を行いました。今回の人権教室は、学年ごとに発達段階に合わせた教材を使って行っています。因みに各学年の教材は…

1年生：「どうすれば楽しくあそべるかな」。2年生：「おなじとちがい。」3年生：「公平、不公平ってどういうこと？」4年生：「決めつけて何だろう？」

5年生：「合理的はいりよってどういうこと？」6年生：「より

よい社会をつくるために。」といった内容でした。

人はみな平等であること、それは法律で定められているみんなの権利であること、人との違いを認め合い、みんな違ってみんないいという考え、そして誰もが暮らしやすい社会を作ることの大切さ…などをそれぞれの学年で学び、自分の考えを言葉にしました。

残念なことには最近の社会では、自分の権利を声高に主張し相手の迷惑を考えなかったり（それが国全体の考えになると、自国の利益になることのみに向け、他国の迷惑は無視…となりますね。）自分と違う考えの人を徹底的に攻撃したりするニュースをネットでもよく見かけます。学校では機会があるごとに人権についての学習を行っていきます。ぜひ御家庭でも話題にしてください。人権感覚は家庭でめばえ、学校や地域で育ち、その後の子供たちの人生で花開くものではないかと考えます。

◆今後の予定

12月13日（金）薬物乱用防止教室（6年生）

12月14日（土）土曜開放 めばえ部会しめ縄リース作り（JA 倉庫）

12月16日（月）そろばん教室（3-3、3-4）

12月19日（木）そろばん教室（3-1、3-2）

12月23日（月）給食終了

12月24日（火）2学期終業式

12月25日（水）冬季休業（1月7日まで）・・・3学期の始業式は1月8日（水）です。



◆校長のつぶやき

“クリティカルシンキング”という言葉聞いたことがありますか？（昭和の男性ツインボーカルのロックグループではありませんよ…。それは“クリスタルキング”）クリティカルシンキングとは、「批判的思考」とよく訳されていますが、言葉の正しい意味からすると「多面的・多角的思考」と訳した方がよいそうです。どのような思考かというと…「これって本当に正しいのだろうか？」「この情報は信じられるのか？」「他に考え方はないのか？」など、「その考えが正しいのかを検証して、本質を見極める」思考の事です。世間では、「騙されて闇バイトに手を染めてしまった。」「ネットの誹謗中傷に乗っかり、自分も配信してしまった。」等、情報をうのみにしてしまっただが故の悲劇が絶えません。クリティカルシンキングの第一人者は、「クリティカルシンキングの大原則は思いやりである。」と言っています。社会の事、相手の事、自分の事をもっとよく理解したい、という思いやりゆえに、必死に考えることが大切なのです。自分や他者の考えや、言動が本当に正しいのか…いったん立ち止まって考えることの大切さを最近よく思います。学校でも育てていきたい力です。